

2024年度（令和6年度）

沖縄県立芸術大学大学院 × 女子美術大学大学院

単位互換プログラム

履修生募集要項

目 次

1. 単位互換協定について等	1
2. 出願手続きなどについて等	2
3. 受入授業科目及び授業内容一覧	3～4
4. キャンパスアクセス	5
5. 施設利用について	6
6. キャンパス案内図	7～8
7. 図書館の利用と案内	9～11

沖縄県立芸術大学大学院と女子美術大学大学院との単位互換プログラムについて

両大学院では、2012(平成24)年4月に締結した「教育・学術交流に関する協定」によって、単位互換プログラムを実施しております。

このプログラムは、両学に所属する学生が、他の大学の授業科目を履修し、そこで取得した単位をその学生が所属する大学の単位として認定しようとするものです。

短期間の集中授業において、それぞれの大学院独自の特色ある授業科目や、専門性の高い授業科目が提供され、個々の関心や興味に応じた授業を通し自己の制作研究における探求を行います。

「自分の大学では学べない研究分野や内容について学んでみたい」「同じ研究分野・領域ではあるが他大学の授業内容や制作研究方法を経験することで、広い考え方や見方を身につけたい」「他の美大の雰囲気に触れながら、違った環境下において制作を行なってみたい」「他美大の学生と制作や交流を行うことからの刺激を受けてみたい」などと思っている方は是非チャレンジしてみてください。

単位互換の受入を行う授業科目について

2024(令和6)年度は一覧に記載している授業科目のみの受入といたします。

沖縄県立芸術大学生が受講できる女子美術大学の授業科目は2専攻6研究領域の6科目、

女子美術大学生が受講できる沖縄県立芸術大学の授業科目は2専攻4専修の7科目です。

詳しくは P3～4 ページをご覧ください。※授業内容が特に定められていない科目は志望者と受入担当教員との調整により内容を決定

履修期間について

原則として2024(令和6)年9月から12月の期間内の6日間程度で実施。※専修/領域によっては1～2月受入もあり

※夏期休業期間中を除く[夏期休業 沖縄県芸 8/1～9/10、女子美 7/23～9/13]

※一部、日程等を定めていない科目は志望者と受入担当教員と調整の上、日程を決定する。

単位及び単位の認定方法について

互換する履修単位は演習2単位(最低30コマ相当)とし、1週間程度の集中授業形式で実施する。

各大学の認定方法については以下の通りとする。

沖縄県芸生: 女子美で履修した単位は、次のように読替え単位認定を行う。

- ・芸術創作応用Ⅰ(洋画) → 絵画課題演習
- ・芸術創作応用Ⅰ(日本画) → 絵画課題演習
- ・芸術創作応用Ⅰ(版画) → 絵画課題演習
- ・芸術創作応用Ⅰ(立体芸術) → 彫刻課題演習
- ・芸術創作応用Ⅰ(刺繍) → 染課題演習又は織課題演習
- ・芸術創作応用Ⅰ(環境デザイン) → デザイン課題演習

女子美生: 沖縄県芸で履修した単位は、芸術創作応用ⅠもしくはⅡとして読替え単位認定を行う。

募集人数について

各授業科目につき若干名。(男女不問)

授業料について

授業料は無料です。また、履修の際の手続き費用も不要です。なお実習、実技等にかかる教材費等については実費を徴収する場合があります。

旅費・交通費・宿泊費等の費用について

通学に伴う旅費・交通費・宿泊費等は全て自費負担となります。

履修期間中の宿泊について

履修期間中の宿泊は以下の通りです。

沖縄県芸：本学には宿泊施設はございませんので、履修期間中の宿泊費は全て自費負担となります。
モノレール沿線沿いのホテルやウィークリーマンション等を利用してください。

女子美：本学には宿泊施設はございませんので、履修期間中の宿泊費は全て自費負担となります。
大学近隣のホテルを利用してください。

《参考》・宿泊施設案内(楽天トラベル)



出願手続きについて

1. 申込者の資格

沖縄県立芸術大学及び女子美術大学の大学院に在籍する学生で、所属大学(以下「所属大学」と呼ぶ)及び受入大学院が許可をすれば、どなたでも受講の資格があります。

2. 履修の出願・登録

履修を希望する学生は、担当教員との相談の後、次の期間内に「単位互換履修生 出願・登録書」を所属大学に提出し申請を行ってください。

※なお申請の際、受入大学の学生証用の写真1枚を提出してください。

沖縄県芸から女子美へ行かれる方: 2×2cm の写真

女子美から沖縄県芸へ行かれる方: 3×2.5 cm の写真

2024(令和6)年5月7日(火)～5月24日(金)※所属大学の窓口受付終了時間まで[厳守]

3. 科目履修受入の許可

各大学院では、単位互換履修生出願・登録書やその他の書類により受入れる学生の選考を行い、その結果を所属大学に連絡します。科目履修の許可は7月下旬(予定)に各所属大学から出願者に通知されます。

4. 単位互換履修生証の交付

単位互換履修生証(及び学生証)は、受入れ大学で発行し、受講開始までに所属大学から引き渡されます。キャンパスへの入校、授業科目の受講、施設の利用等で必要です。履修期間内は必ず携帯してください。

5. 授業科目の履修方法・単位の履修方法

授業科目の履修方法と単位の修得方法は、両学の学則とその他諸規程が定めているところ、及び授業科目担当者の指示によります。詳しくは授業開始前に配付される書類または、授業科目担当者から説明されますが、不明な点は各大学の単位互換プログラム担当窓口(沖縄県芸:教務学生課、女子美:教育支援センター)までお尋ねください。

6. 履修期間中の単位互換履修生への連絡について

履修期間中のさまざまな情報(休講や授業変更等)は受入担当教員(及び当該研究室)または各大学の単位互換担当より、出願時にご提出いただいた出願・登録書に記載されたアドレス宛にメールをお送りいたします。

2024年度(令和6年度) 単位互換開講授業一覧

生活造形専攻	工芸専修 (首里崎山キャンパス)	受入科目	染課題演習
		授業内容	染素材・技法全般について
		科目担当	名護朝和、宇良京子
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間程度)
		備考	日程については前もって要相談
		受入科目	織課題演習
		授業内容	織素材・技法全般について
		科目担当	花城美弥子、久保田寛子
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間程度)
		備考	日程については前もって要相談
		受入科目	陶磁器課題演習
		授業内容	陶芸素材・技法全般について
		科目担当	山田聡、島袋克史
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間程度)
		備考	日程については前もって要相談
		受入科目	漆工課題演習
		授業内容	漆工素材・技法全般について
		科目担当	當眞茂、松崎森平
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間程度)
		備考	日程については前もって要相談
	デザイン専修 (首里崎山キャンパス)	受入科目	デザイン課題演習
		授業内容	デザイン素材・技法全般について
		科目担当	仲本賢、赤嶺雅、宮里武志、笹原浩造、又吉浩、高田浩樹、赤塚美穂子
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間)
		備考	日程については前もって要相談
環境造形専攻	絵画専修 (首里当蔵キャンパス)	受入科目	絵画課題演習(日本画領域)
		授業内容	日本画 画材・技法全般について
		科目担当	香川亮、喜多祥泰、関谷理
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間程度)
		備考	日程については前もって要相談
		受入科目	絵画課題演習(油画領域)
		授業内容	担当者と相談(凹版、孔版、ミックスメディア・インスタレーション等)
		科目担当	知花均、高崎賀朗、阪田清子
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間)
		備考	日程については前もって要相談
	彫刻専修 (首里崎山キャンパス)	受入科目	彫刻課題演習
		授業内容	彫刻素材・技法全般について
		科目担当	砂川泰彦、松本隆、河原圭佑、長尾恵那
		受入日程	9月から12月の間、集中で対応(6日間)
		備考	日程については前もって要相談

2024年度(令和6年度) 単位互換開講授業一覧

女子美術大学 大学院 美術研究科(※沖縄県芸生が受講可能な授業科目)			
美術専攻	洋画 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(洋画)
		授業内容	絵画を基幹とした表現の研究、作品化のプロセスを意識して制作を行う。
		科目担当	大森悟、鴻崎 正武、福士朋子、堀込幸枝、山内隆
		受入日程	9月から12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談
美術専攻	日本画 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(日本画)
		授業内容	岩絵具・和紙等の日本画材料関連の実習を中心に各自の創作研究に応じた試作を行う。
		科目担当	宮島弘道、岸野香、稲田亜紀子
		受入日程	9月～12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談
美術専攻	版画 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(版画)
		授業内容	版画分野(銅版画・リトグラフ・シルクスクリーン)について
		科目担当	清水美三子、阿部大介
		受入日程	7月～12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談
美術専攻	工芸 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(刺繍)
		授業内容	日本刺繍の基礎技法・伝統文様の刺繍、刺繍機を使ったフリーモーション刺繍を学び小作品を制作する。本学美術館が所蔵する女子美染織コレクションの熟覧を行い、実物資料を研究することの重要性を学ぶ。
		科目担当	大崎綾子、山下ちかこ
		受入日程	9月～12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談
美術専攻	立体芸術 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(立体芸術)
		授業内容	彫刻分野全般について
		科目担当	帆足枝里子
		受入日程	9月から12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談
デザイン専攻	環境デザイン 研究領域 (相模原キャンパス)	提供科目	芸術創作応用Ⅰ(環境デザイン)
		授業内容	空間を表現の手段とした「表現」とは何かを調査・研究を行い、演習課題において考察・理解する。各自関心のあるテーマに基づいて表現方法を検討し制作を行う。
		科目担当	飯村和道
		受入日程	9月～12月の間、集中(6日間)で対応
		備考	※要相談

キャンパスアクセス

■沖縄県立芸術大学

◎首里当蔵キャンパス(絵画専修)

〒903-8602 沖縄県那覇市首里当蔵町一丁目4番 TEL:098-882-5080(教務学生課)



【交通のご案内】

・自動車利用の場合

那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。沖縄自動車道・那覇I.C.から約10分。

・モノレール利用の場合

那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅より徒歩約10分。首里駅よりタクシー利用で約3分。

・バス利用の場合

当蔵バス停下車。徒歩1分。

1 首里牧志線、7・8 首里城下町線、14 牧志開南循環線、17 石嶺(開南)線、346 那覇西原線

◎首里崎山キャンパス(工芸専修、彫刻専修、デザイン専修)

〒903-0814 沖縄県那覇市首里崎山町四丁目212番地1 TEL:098-882-5060(事務室)

【交通のご案内】

・自動車利用の場合

那覇空港(那覇)より9.8km、約45分。沖縄自動車道・那覇I.C.から約3分。

・モノレール利用の場合

那覇空港駅より首里駅まで約27分。首里駅よりバス乗換。首里駅よりタクシー利用で約3分。

・バス利用の場合

芸大崎山キャンパス前バス停下車。徒歩1分。

15 寒川線

那覇インター前バス停下車。徒歩5分。

1 首里牧志線、14 牧志開南循環線、15 寒川線、16 新川石嶺線、18 首里駅線(一周線)、19 首里駅循環線
111 高速バス、113 具志川空港線、117 高速バス(美ら海直行)、123 石川空港線、127 屋慶名高速線
152 イオンモール沖縄ライカム(高速線)、191 城間線(一日橋経由)、391 城間線(サンエーパルコシティ)

■女子美術大学

◎相模原キャンパス

〒228-8538 神奈川県相模原市麻溝台1900 TEL:042-778-6111(代)

・小田急線相模大野駅から神奈川中央交通バス「女子美美術大学行」約20分

・JR 横浜線古淵駅から神奈川中央交通バス「女子美美術大学行」約15分



【羽田空港から小田急線相模大野駅までのアクセス】

[空港リムジンバス利用の場合] 羽田空港—相模大野駅 <所要時間約55~120分>

[電車利用の場合]・京浜急行 羽田空港国内線ターミナル駅→横浜駅 JR 京浜東北線 横浜駅→東神奈川駅
JR 横浜線 東神奈川駅→町田駅 小田急線 町田駅→相模大野駅 <所要時間約70分>

・京浜急行 羽田空港国内線ターミナル駅→横浜駅 相鉄線 横浜駅→大和駅

小田急線 大和駅→相模大野駅 <所要時間約70分>

【羽田空港からJR 横浜線古淵駅までのアクセス】

[電車利用の場合]・京浜急行 羽田空港国内線ターミナル駅→横浜駅 JR 京浜東北線 横浜駅→東神奈川駅

JR 横浜線 東神奈川駅→古淵駅 小田急線 <所要時間約70分>

※その他主要駅からのアクセス及び相模大野・古淵バス時刻表等は本学 HP の交通案内を参照してください。

施設の利用について

沖縄県芸：◎当蔵キャンパス

校内食堂：福利厚生棟地下1階にある食堂が利用できます。月～金 11:00～16:00(土日祝は休業)

図書館：当蔵キャンパス内の附属図書・芸術資料館が利用できます。

売店等：学内には売店等はありません。近隣にコンビニがありますので、そちらをご利用ください。

◎崎山キャンパス

校内食堂、売店等はありません。

当蔵キャンパスとの間をシャトルバス及び借上タクシーが運行しています。(昼休み時間及び夕方)

女子美：◎相模原キャンパス

学生食堂：2号館1階にある食堂が利用できます。月～金 11:00～17:00(土は 14:30 迄)

美術館(JAM)：10号館1階に美術館があり、展覧会開催時は自由に観覧ができます。

図書館：キャンパス内の図書館が利用できます。

売店：1. 5号館にある売店では画材等を販売しています。月～金 9:00～18:30(土は 16:00 迄)

コンビニ：キャンパス隣(1. 5号館裏)にはコンビニがあります。

※キャンパス内の図書館や美術館を利用する際には単位互換履修生証(及び学生証)が必要です。

通学について

沖縄県芸：自動車、バイク等による通学者は、車両登録票を提出してください。駐車場が狭いため、できるだけバス、モノレール等の公共交通機関を利用願います。なお、駐車場内での事故による責任は負いません。

女子美：本学は自家用車での通学はできません。また、バイク・自転車で通学する場合は、手続きが必要です。教育支援センター(単位互換担当)まで申し出てください。

履修期間中の保険について

沖縄県芸生：履修期間内における不慮の事故やケガは、学生教育研究災害障害保険及び学研災付帯賠償責任保険にて対応いたします。保険に加入していない学生は、単位互換プログラムには参加できません。

女子美生：履修期間内における不慮の事故やケガの際は、入学時に全学生が加入している学生教育研究災害障害保険及び学研災付帯賠償責任保険にて対応いたします。

単位互換プログラムに関する窓口

沖縄県芸：当蔵キャンパス管理棟1階 教務学生課

電話：098-882-5080 FAX：098-882-5033 メールアドレス：kyomu@okigei.ac.jp

女子美：相模原キャンパス1号館1階 教育支援センター

電話：042-778-6613 FAX：042-778-6649 メールアドレス：es-c@venus.joshibi.jp

防災について

沖縄県芸：地震・火事等の非常時の際は、職員の指示に従って避難をしてください。

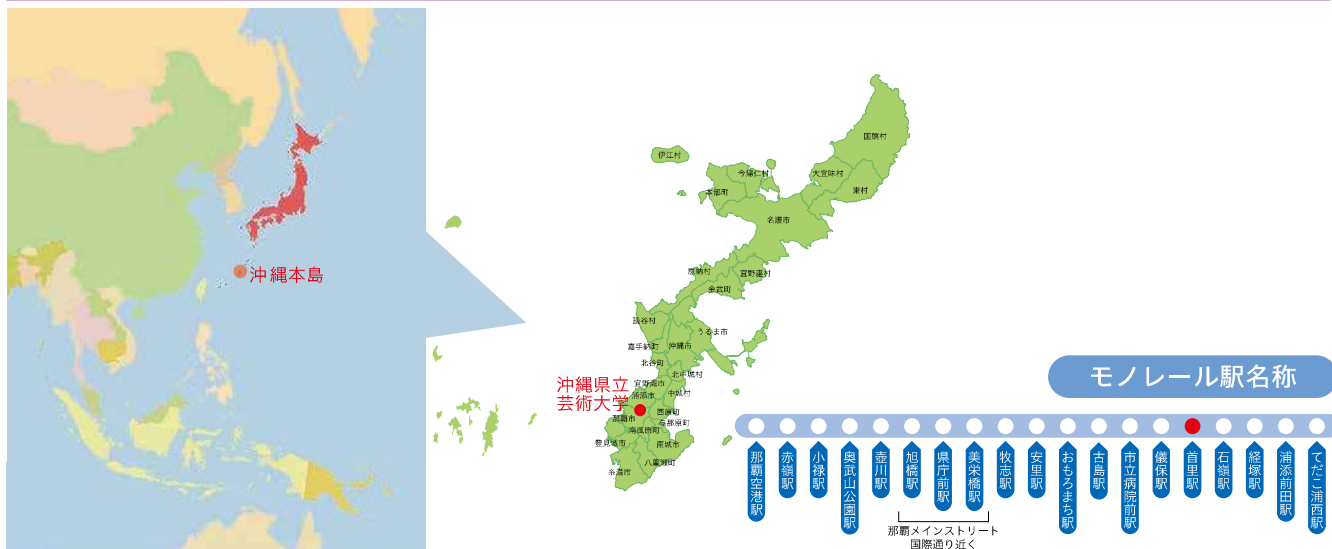
女子美：学内で地震等の災害が起きた際は、指導担当教官及び研究室の指示に従って避難をしてください。

一時避難場所：キャンパス内のグラウンド・13号館前調整池(相模原キャンパス)

広域避難場所：相模原麻溝公園(相模原キャンパス隣の公園)

アクセスマップ

沖縄県立芸術大学の位置 Location of the Okinawa Prefectural University of Arts



女子美術大学 相模原キャンパス案内図

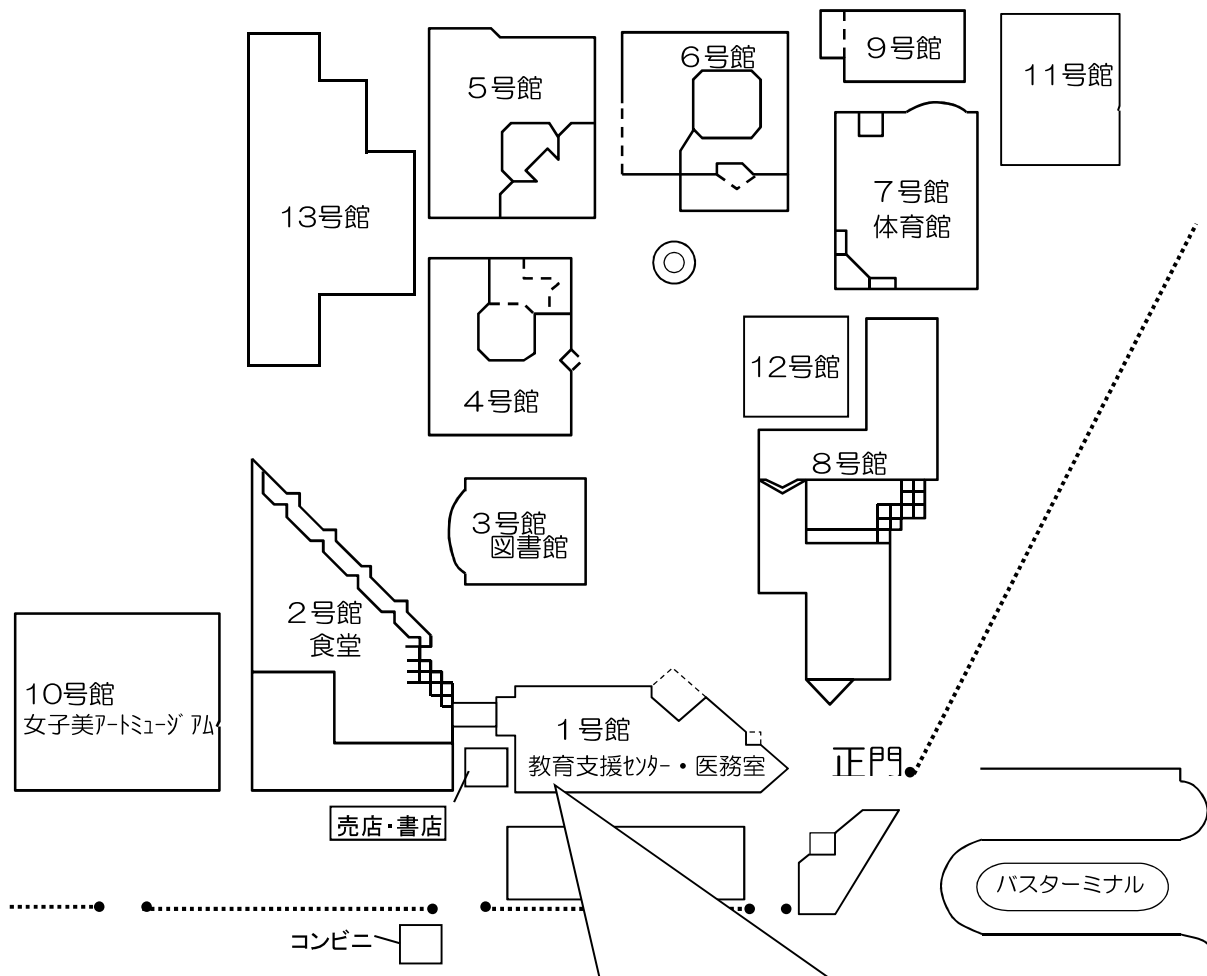
単位互換に関する窓口：1号館1階教育支援センター

休講に関する掲示：1号館1階入口

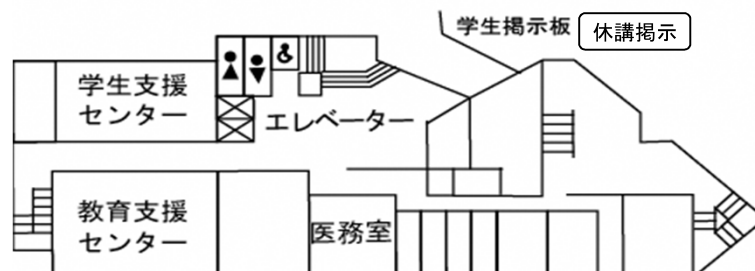
医務室：1号館1階

食堂・売店：2号館1階

イワタ売店・書店：1. 5号館1階



<1号館1階詳細図>



沖縄県立芸術大学図書館の利用案内

(1) 開館時間

月～金 午前9時から午後8時まで

※夏季等休業期間は午前9時から午後5時まで

(2) 休館日

土曜日、日曜日、祝祭日、本学の定める休業日その他館長が必要と認める日。

(3) 館内利用

開架閲覧室、視聴エリア、多目的室、ラーニング・コモンズが利用できます。

① 開架閲覧室(1階)

図書、雑誌、AV 資料、新聞等、カラーコピー機、利用者端末機(2台)が備えられており、閲覧、貸出、コピー、情報検索等のサービスが受けられます。

② 視聴エリア(1階)

ビデオ、CD、カセットテープ、LD、DVD 等のAV機器が備えられており、持ち込み、複数利用も可能です。カウンターでの利用手続きが必要です。

③ 多目的室(1階)

ビデオ、CD、カセットテープ、LD、DVD 等が使用できるプロジェクターが備えられています。多人数(60人収容)での利用が可能です。利用には予約申込が必要です。

④ ラーニング・コモンズ(1階)

学生が、グループ学習、自主学習をするための場所です。カウンターでの入室手続きが必要です。

(4) 館外利用

① 貸出の対象となる資料は次のとおりです。

図書 5冊まで、14日間(大学院生は10冊まで、30日間)

雑誌 1冊まで、7日間(最新号は貸出不可)

② 次の資料は館内利用のみで、貸出はしません。

AV 資料(ビデオ、CD、LD、DVD、カセットテープ等)

辞典類

楽譜(禁帯出のもの)

雑誌(最新号のみ)

禁帯出ラベルの貼ってある資料等

(5) コピーサービス

館内資料のみ利用可能です。カウンターで必要な手続きをとってください。(モノクロ10円、カラー50円)

(6) 購入希望

購入して欲しい図書等がありましたら、カウンターにある購入希望資料申請書または図書館 web サービスにより申し込みをしてください。

(7) 図書館相互利用(LL)

資料が当館に備えられていない場合は、他の大学図書館に対して、資料の取り寄せ、コピー等の依頼ができます。カウンターまたは web サービスにより申し込みをしてください。
※費用は個人負担となります。

(8) 国立国会図書館デジタル化資料送信サービス

国立国会図書館が所蔵する図書、雑誌等をデジタル化した資料の閲覧や複写をすることができます。カウンターで申し込みをしてください。※複写にかかる費用は個人負担となります。

(9) 利用案内

上記のサービスのほか、文献の所在調査等、利用に関するサービスも行っています。カウンターに申し出てください。

※注意事項

- ア 当館に備えられている資料や AV 機器等はみんなが使用するものです。大切に取り扱いください。
- イ 借りた資料の返却期限は守ってください。返却期限を過ぎても返却しない者については、新たな貸出はしません。
- ウ 館内での飲食・喫煙・携帯電話の利用は禁止です。
- エ 学生証を忘れた場合は、図書館の館外利用(貸出等)はできません。
- オ 資料を紛失、汚損、破損した場合は弁償となる場合があります。

◎案内図



女子美術大学図書館の利用案内

1. 開館・休館

【授業期間】 平日:9:00～20:00 土曜:9:00～18:30

【授業のない期間】 平日:9:30～17:00 土曜:9:30～17:00

〔休館日〕 日曜日、祝日、入学試験期間、創立記念日(10月30日)、他に必要とする期間

* 詳細は、図書館ホームページ(<https://library.joshibi.ac.jp/>)に掲載します。

2. 入館

初回のみ登録が必要です。はじめて利用する際は、入口でカウンターに「登録にきた」旨を伝えてください。ゲートを開けます。「単位互換履修生証」を提示の上、登録手続きを行ってください。

以降の入館時は、「単位互換履修生証」のバーコードを入館ゲートに読み込ませて(機器のセンサーに、バーコードをかざす)ください。自動でゲートが開きます。

* 入館は単位互換履修生本人のみとします。

* 図書の貸出やAV(視聴覚)コーナーを利用する際には、必ず「単位互換履修生証」が必要です。
忘れないようにしてください。

3. 退館

貸出手続きを忘れたり、済ませないまま館外に持ち出そうとすると、出口で警報が鳴るシステムが設置されています。万一鳴ってしまったら、カウンターに戻り確認を受けてください。

4. 督促

図書の返却が予定日を過ぎた場合、メール、電話または郵送で督促(とくそく)を行います。ペナルティで、貸出が停止する場合がありますのでご注意ください。

* 図書館利用に関する詳細やエチケットについては、「図書館利用のしおり」(館内で配布)をご覧ください。

